

氏名	小 天 和 也
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4250 号
学位授与の日付	平成20年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Serum interferon-gamma-inducible protein 10 level was increased in myocardial infarction patients, and negatively correlated with infarct size (血清IP-10値は心筋梗塞患者において増加し、心筋梗塞巣の大きさに負の相関を示した)
論文審査委員	教授 佐野 俊二 教授 成瀬 恵治 准教授 高橋 英夫

#### 学位論文内容の要旨

急性心筋梗塞（AMI）患者において、炎症によって産生されるケモカイン血清 IP-10 値を測定した。対象は AMI 患者 33 名、不安定狭心症 20 名、健常者 20 名で、AMI 患者では冠動脈形成術（PCI）前、発症 3 日目、7 日目、28 日目の血清を用いた。AMI 患者では血清 IP-10 値は  $137.5 \pm 79.8$  pg/ml で、健常者の血清 IP-10 値 ( $91.2 \pm 40.1$  pg/ml) や不安定狭心症の血清 IP-10 値 ( $93.3 \pm 41.1$  pg/ml) に比べて有意に高値であった。AMI 患者において PCI 前の血清 IP-10 値は CK リリース値、ピーク CK 値、ピーク CK-MB 値のパラメーターで評価した心筋梗塞巣の大きさに有意に負の相関を示した。多変量解析を行い、AMI 患者において PCI 前の血清 IP-10 値は CK リリース値の独立した予知因子であることがわかった。AMI 患者において PCI 前の血清 IP-10 値は心筋梗塞巣の大きさを予測できるのに有用と思われた。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、急性心筋梗塞（AMI）患者において産生されるケモカイン血清 IP-10 値を測定することによって、冠動脈形成術（PCI）前に心筋梗塞巣の大きさを予測できる可能性を示した論文であり、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。